

赤ちゃんの嘔吐

千葉県小児科医会 村松 俊範 医師

赤ちゃんが吐くことは、しばしばあります。そのほとんどは胃からの逆流や飲みすぎによるもので、成長とともに改善してくるのですが、中には危険な嘔吐や緊急性の高い嘔吐もあり、注意が必要です。ここでは危険な嘔吐を見分けるためのポイントについて述べたいと思います。

▶吐物の色に注意

吐いた場合、吐物の色をよく観察しましょう。黄色や緑色の嘔吐は胆汁の色であり、生後間もない赤ちゃんの場合は先天性の腸の閉鎖や狭窄が疑われます。腸回転異常症のように、緊急性が高く速やかに手術をしないと腸の大部分が壊死してしまう危険な疾患もあり、迅速な対応が必要です。

赤や黒の嘔吐の場合は、胃からの出血の可能性があるため、やはり速やかに病院を受診する必要があります。

透明な色や、ミルクかすの色の場合は、色自体は心配ありませんので、次のチェックポイントに行きましょう。

▶嘔吐の量と回数に注意

通常の嘔吐の場合、飲んだものの一部を嘔吐するだけであり、回数も哺乳回数の半分以下のことが多いはずで、飲んだものを毎回

のようにほとんど吐いてしまう場合は、受診が必要です。特に今までは少なかった嘔吐が急に量も回数も増えてきた場合は、^{ひこうせいゆうもん}肥厚性幽門^{きょうさくしやう}狭窄症などが考えられますので、速やかに受診するようにしましょう。

▶体重増加を観察しましょう

体重増加が得られているかどうかは重要なチェックポイントです。嘔吐で小児科を受診した場合は体重を測ると思いますが、今までとの比較が大切です。母子手帳を忘れずに持参するようにしましょう。

▶赤ちゃんの様子を観察しましょう

危険な嘔吐の場合、ほとんどの赤ちゃんはぐったりしたり機嫌が悪かったりするものです。顔色も悪く、おなかの張りが強くなることもあります。実はこの「いつもと違う様子」に気づくことが最も大切なのですが、生後間もないとなかなか難しいかもしれません。普段から赤ちゃんに話しかけながら、「今日のご機嫌はどうか」と観察していることで、変化に気づきやすくなります。「いつもと違う」と感じたら、かかりつけ医に相談すると良いでしょう。



こども急病電話相談

受診するべきかどうか迷ったら

#8000

毎日夜7:00~翌朝6:00

※相談は無料ですが、通話料をご負担いただきます。

ダイヤル回線・IP電話・光電話・銚子市からは

☎043 (242) 9939